

入居者も次世代へ1票

市街地を離れた静岡市葵区の山里にある高齢者施設に、1票を託す先を真剣に選ぶ車いすの入居者とそれを支える職員の間があった。31日投票開票の衆院選で、同区富沢の特別養護老人ホーム「晃の園」が設置した不在者投票会場を26日に訪ねた。

みんなの選挙 ずおかん

高齢者施設・不在者投票

投票用紙を入れる封筒に自分の名前を書き、候補者と政党を選ぶ。同ホーム統括部長の川崎誠之さん(38)の時間は5〜10分。認知症が進む入居者の中には、投票用紙を目的にして10分以上考え込んでしまう場合も。介助者はじつと意思決定を待つ。

「社会とつながって」

介助者の協力を得て、真剣なまなざしで一票を投じる男性入居者。26日、静岡市葵区富沢の特別養護老人ホーム「晃の園」

社会参加「唯一の機会」

り活発ではない人も、投票になると急にしゃんとして職員を驚かせるといふ。新型コロナウイルス禍で家族との面会が制限される中、

入居者の投票に対する思い入れはさらに強まっている。隣接するケアハウス「ラポール駿河」に回

り、70〜80代の入居者と、70〜80代の入居者

に政治への思いを聞き、思い入れはさらに強まっている。隣接するケアハウス「ラポール駿河」に回

り、70〜80代の入居者

に政治への思いを聞き、思い入れはさらに強まっている。隣接するケアハウス「ラポール駿河」に回

△メモ 不在者投票制度など、計596カ所が指定された。投票所に行くことが難しく、病院に入院している人などがその施設内で投票できる制度。県内では病院をはじめ、立会人を置き、投票の公正さを担保する。



記者の目

政治と若者について、ケアハウス「ラポール駿河」で取材した3人の高齢女性の議論は白熱した。

情熱、どう伝える

「政治と若者について、ケアハウス「ラポール駿河」で取材した3人の高齢女性の議論は白熱した。西田さんは若い頃、学生運動に関わり、安保反対で国会前のデモに参加した。「日本を良くしよう」と政治家だけでなく、国民全体で考えるのが総選挙」。インドネシアで暮らしたこともあり、「向こうは選挙になると国中

が沸く。貧しい国は立派な指導者を選ぶと懸念」と振り返る。父親が政治家でウグイス嬢を務めたという望月さんは「政治が若者から離れている。若者が参加する道筋をつくらないと」と求め、輪島さんは「根本は教育」と指摘した。

「今の若者には未来を切り開こうという情熱が足りない。あなたがしっかりと伝えないと。人生の大先輩から叱咤(しつた) 激励を受けた。」(社会部 寺田拓馬)

掘削工 先端で

リニアト

作業員2人が死傷した岐阜県中津川市のリニア中央新幹線瀬戸トンネル事故で、非常口トンネルを地上から斜めに約70メートル掘り進めた先端の地点で崩落が発生したことが28日、JR東海への取材で分かった。事故があったのは、本線トンネルへの資材搬入などに使う斜坑部分で、同社は掘

りてきた。以降、同社「掘削」(調査設備)「掘削」(掘削)の証拠採用をめぐり